

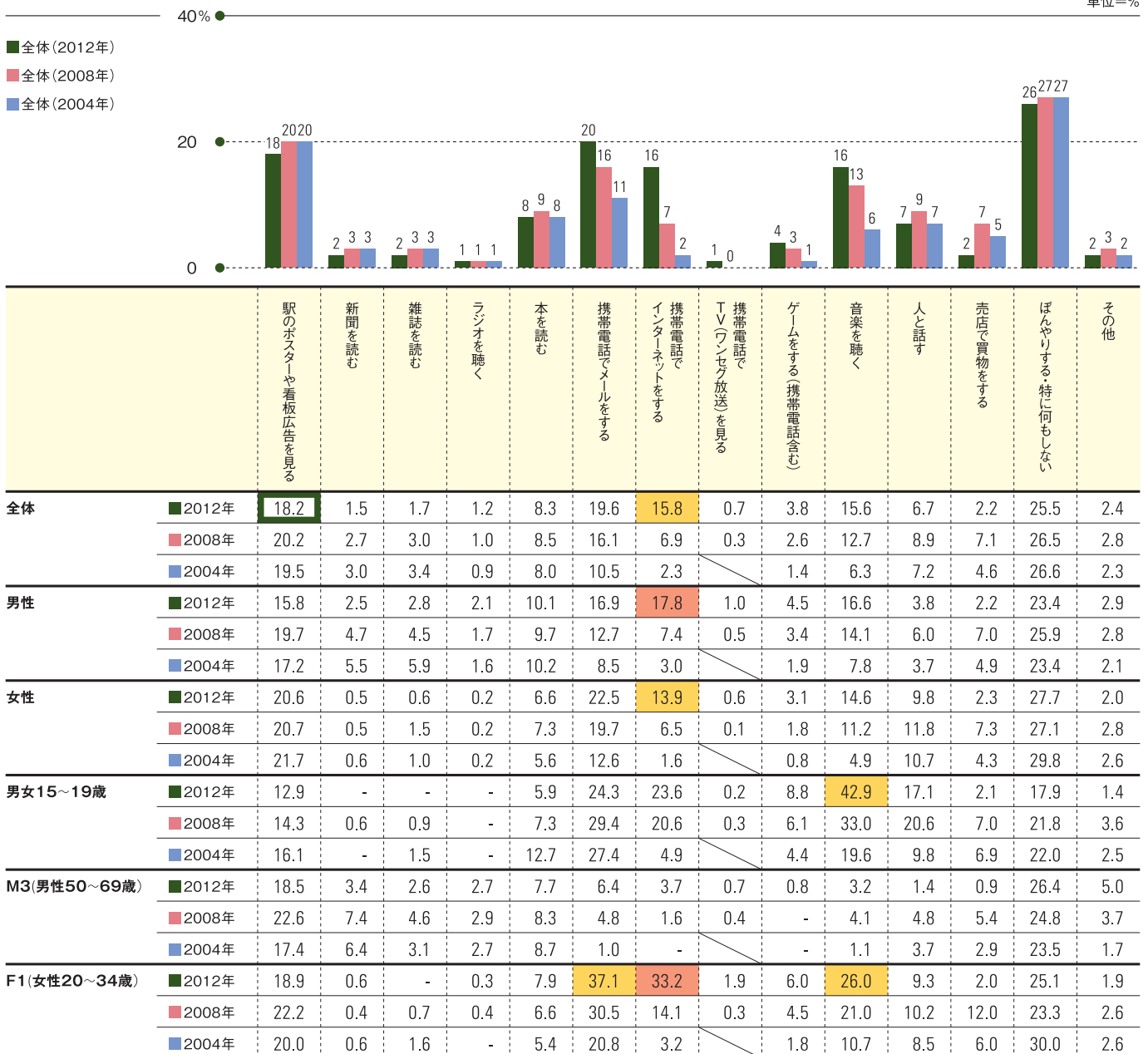
04 4 平日の駅構内での行動／時系列変化

スマートフォンの普及により携帯電話でのインターネットが大幅増加する中で、
 駅構内の広告を見る割合は2004年から大きな変化はありません。

2012年の「駅のポスターや看板広告を見る」は全体で18%と、2008年、2004年から微減しているものの、大きな変化はありません。
 しかしその他の行動では、男女10代では「音楽を聴く」「携帯電話でインターネットをする」、
 F1層ではそれらに加え「携帯電話でメールをする」などが大幅に増え、スマートフォン(以下 スマホ)の普及による影響が現れているとも考えられます。

平日の駅構内での行動／ターゲット別時系列比較

単位=%



■は同じターゲットの2012年と2008年を比べて、他方より+10%、■は+5%のスコア

◎「携帯電話でTV(ワンセグ放送)を見る」は2004年データなし
 ◎特徴のある性・年代を抽出